

平成24年度私立学校初任者研修 近畿地区研修会実施報告

本年度の私立学校初任者研修近畿地区研修会が、平成24年8月16日（水）から17日（木）の1泊2日の日程で、大阪ガーデンパレスで開催され91名の参加があった。



近畿地区私立中学高等学校連合会長で京都精華女子中学高等学校理事長・校長である山本綱義氏の講義「ユニーク教育 バンザイ」では、受講生たちに「自分は『私学の』教員なのだ」という自覚を強くうながす講演であった。

午後からは、マルチメディア振興センター講師の宇津木麻也子氏による講義「インターネット・携帯電話

の安全な使い方ー子どもをネット社会の被害者にも加害者にもしないためにー」では、今や高校生も多くが所持しているスマートホンは、セキュリティ面が普及に追いついていないなど、生徒が犯罪に巻き込まれないよう最新の注意が必要であることを強調した内容であった。

その後の「体験発表」では、帝塚山高等学校教諭の池辺政人氏から、「行事等における環境への配慮」、また同志社香里中学校高等学校教諭の水口賢司氏からは、「キャリア教育の践」、の発表があり、いずれも校務における実践的な事例報告であった。

この後の分散会では、各学校で初任者たちが抱える生徒指導や学習指導上の悩みなどが議論された。

最終日の2日目は、午前中は前日に引き続き分散会が行われた後、午後からは分散会報告及び立命館大学教育開発推進機構教授である倉石寛氏の「日本の教育を切り開いてきた私学ー場・共創・挑戦…学力・学校力ー」と題した講演の後、閉会式での修了証授与で、この研修を終了した。

